



662-0833 西宮市北昭和町3-20 TEL&FAX 0798-65-4303 携帯080-3138-4164

Eメール soshisha@f6.dion.ne.jp ホームページ <http://amenity2000.la.coccan.jp/>

お知らせ

- #六甲山荘作業 3月24日(土)
- #弥生の茶会 3月11日(日) 草志舎
- #五島列島教会をめぐる旅 3月14日(水)～17日(土)
- #六甲山荘作業&スタッフ研修 3月31日(土)
- #六甲山荘公開再開 4月1日(日)
- #2018年上期セミナー第1回 4月21日(土) 草志舎
- #畑儀文の合唱教室 4月23日(月) 草志舎
- #和のこもの展 4月25日(水)26日(木) 草志舎
- #春季ナショナル・トラスト展 4月28日(土)～5月6日(日) ヴォーリズ六甲山荘
- #2018年上期セミナー第2回 5月12日(土) 草志舎
- #2018年度総会 5月19日(土) 草志舎
- #畑儀文の合唱教室 5月21日(月) 草志舎
- #ヨーロッパ文化遺産をめぐる旅～スイス・オーストリア編 5月30日(水)～6月7日(木)



予告

2018年度セミナー<足跡を探访するⅢ>

主催：文化遺産継承協議会

2018年度のセミナー前期は「足跡を探访するⅢ」というテーマでお送りします。講演と懇談で会場は4月、5月、6月、9月は草志舎、7月は東京です。

日程	4月21日(土)	「再発見！ヴォーリズ建築の魅力」	講師 二村盛寧
	5月12日(土)	「ヴォーリズ六甲山荘の10年」	講師 清水順子
	6月23日(土)	「吹田での旧庄屋屋敷の保存と活動」	講師 松岡要三
	7月22日(日)	「ナショナル・トラスト」(東京)	講師 山本真紗子
	9月8日(土)	「ヴォーリズさんの設計室Ⅱ」	講師 石田忠範

時間はいずれも14時から

関西	・定員	20名を目途とする。
	・会場	草志舎
	・参加費	通し参加(4回) 会員4,000円 一般6,000円 一部参加(1回) 会員1,500円 一般2,000円
東京	・定員	25名
	・会場	自由学園明日館(豊島区)
	・参加費	会員1,500円 一般2,000円(予定)



詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。なお東京の案内は後日お送りします。

ヴォーリズ六甲山荘の一般公開がはじまります

春が近づいて、ヴォーリズ六甲山荘の一般公開がまもなく再開されます。4月から11月半ばまで原則として土日祝日にオープンします。今年は山荘購入10周年にあたり、それを記念して春と秋に「ナショナル・トラスト展」を開催します。またシンポジウムや草木染教室も開きます。

山荘のチラシを同封しています。お知り合いをお誘いくださってぜひ六甲山荘をお訪ねください。

<<六甲山荘のスタッフ募集>>

ヴォーリズ六甲山荘の公開中の仕事は次のようなものです。来場者を迎える受付、館内を案内するガイド、販売コーナーを担当する販売、お茶、ケーキやランチを用意する喫茶などです。スタッフは助け合いながらこれらの仕事をこなします。マニュアルもあるので、分からないときは確かめればよいのです。

このスタッフにあなたも参加してみませんか。私たちの文化財である六甲山荘で時間を過ごすのはとても気持ちがいいし、お客様との出会いも楽しいものです。

ぜひあなたもスタッフにおいでください。3月24日(土)はスタッフ研修の日です。この機会をお見逃しなく！

ヨーロッパ文化遺産を巡る旅～スイス・オーストリア編

アメニティ 2000 協会のヨーロッパの文化遺産をめぐる旅は、前回のイタリアにつづいて今回はスイス・オーストリアをまわります。2002 年から始めたナショナル・トラストを訪ねる旅として 9 回目となります。

厳しい自然環境のなかを生き抜いてきたスイス、ミニ国家ながら豊かなリヒテンシュタイン公国、ハプスブルグ家の栄光を今につたえるオーストリアの三国です。ヨーロッパの自然と文化を楽しむ旅にご一緒しませんか。

旅行期間 2018 年 5 月 30 日(水)～6 月 7 日(木)

行程 ラヴォー → ベルン → グリンデルワルト → ルツェルン → チューリッヒ →
ザンクトガレン → ファドゥーツ → インスブルック → ザルツブルク → ウィーン

募集人員 25 名 (定員になり次第締切らせていただきます)

最小催行人員 15 名

費用 会員 398,000 円 (一般は 10,000 円プラス)

旅行主催 (株)JTБ 西日本 法人営業大阪支店

ザルツブルク



詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。

畑儀文の合唱教室は 2018 年度も開かれます

テノール歌手の畑儀文さんがみずから伴奏しながら指導して下さるとも贅沢な合唱教室です。曲目も歌曲から童謡まで幅広く、メロディーとハーモニーのうつくしい曲を皆さん楽しんで歌っておられます。あなたも参加してみませんか。

日時 原則として第 3 月曜日の 10 時半から **場所** 草志舎 (阪急西宮北口駅より徒歩 3 分)

参加費 11 回通し 会員 20,000 円 一般 25,000 円

途中から参加 (1 回会員 2,000 円 一般 2,500 円) × 残り回数

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。



ヴォーリス六甲山荘購入 10 周年記念特別企画・ナショナル・トラスト展 開催

2018 年はアメニティ 2000 協会がヴォーリス六甲山荘を購入してちょうど 10 年になります。それを記念する事業をどうするか、記念事業チームが検討中ですが、その一つとして「ナショナル・トラスト展」を春秋に六甲山荘で開催します。アメニティ 2000 協会の活動の骨子であるナショナル・トラスト運動についてのわかりやすい展示です。

春季 4 月 28 日(土)～5 月 6 日(日) (期間中は平日もオープン)

秋季 9 月 15 日(土)～17 日(月・祝) 22 日(土)～24 日(月・休)

詳細は後日ご案内します。

和のこもの展

春の恒例行事<和のこもの展>を開きます。

4 月 25 日(水) 26 日(木) 草志舎

いつも開場前から列ができる大人気イベントで、和の布のすてきな小物がならびます。色遣いのセンスと丁寧な手仕事で、どれも魅力的な作品ばかりです。

私たちはお昼ごはんを喫茶を担当しますが、こちらにも力はいります。前日の準備と当日の調理・サービスにどうぞご参加ください。



予告

2018 年度の通常総会

総会は私たちの活動のこれまでとこれからについて考え話し合う大切な場です。会員ならどなたでも参加できます。2018 年度は次のようにひらきます。ぜひご参加ください。

また総会のあとに交流会と会員の作品展もいたします。こちらにもぎやかに楽しみたいと思います。皆様のご参加お待ちしております。

日時 5 月 19 日(土) 午前 10 時半

場所 草志舎

総会への案内状は後日お送りいたします。

ご報告 新年会 (関西) 1月13日 (土) 草志舎

はじめての参加の方もあり、差し入れも多く、にぎやかで楽しい会でした。田積さんのリコーダー、カルロス君の歌、村山さんの伴奏による参加者の合唱も楽しかったです。



ご報告 畑儀文合唱教室 1月22日 (月) 2月19日 (月) 草志舎

ここ2ヶ月ほどシューベルトの「冬の旅」を練習しています。歌詞は日本語なので、そばで聞いていると「ああ、そういう意味だったのか」といっそう曲の美しさが実感できます。

ご報告 新年会 (関東) 1月27日 (土) 上野の杜 韻松亭 (いんしょうてい)

雪の残るなか寒牡丹と東照宮を見学し、そのあと韻松亭で食事と交歓会をしました。韻松亭は建物も食事もよく、和やかなひとときでした。右の写真は積もった雪のなか、ワラの霜囲いにまもられて咲けなげな牡丹を眺めているところです。



ご報告 古曳邸ミニ・コンサート 2月10日 (土)

会場と演奏がぴったり合ったコンサートでした。暖炉に火のはいった古曳邸の居間で、高井さんの美しい歌声とシターの柔らかな音色を堪能しました。古曳さんは邸内を開放してくださって、参加者はお話しをうかがい、邸内の見学もできました。



<参加記> サロン・コンサート at 古曳邸参加記

森田邦枝

2月の冷たい雨に濡れたコートを預けて迎え入れていただいたのは暖炉のある応接間、そこがサロンコンサートの会場でした。珍しいフランスシターの楽器が目前に置かれています。この素敵空間で繊細なフランスシターの音色と高井和代さんのソプラノの歌声をまじかに聞けるのです。

プログラムを開いて開演を待ちます。古曳邸のご主人古曳喜代子さんが暖炉につきっきりで薪をくべて気を配ってくださいます。

そして、間もなく開演。暖炉の前で聴く「ペチカ」。「ペーチカ、燃えろよ、もえろよペーチカ」この応接間の暖炉のぬくもりからペチカを想像しながら聴きました。演奏の合間には高井さんから曲にまつわるお話も聞いて、より一層興味深く楽しみました。プログラムの中で一番目に飛び込んできていたのがマリーアントワネット作曲「魅惑の肖像画」というタイトル。ロココ時代の華やかな曲をイメージしていました。ところが、高井さんのお話によると、肖像画の貴婦人のことをマリーアントワネットが想って作曲したのですが、その肖像画の貴婦人は、マリーアントワネット全盛期に彼女に群がっていた取り巻きの貴族の多くが王室の没落とともにはばっと去っていったにもかかわらず、最後までマリーアントワネットのそばに残りました。でも、そのためその貴婦人は、最後は断頭台で八つ裂きの最期をとげてしまうのです。その貴婦人のことを想う歌、という説明をうけ、胸が痛くなりました。曲の背景を知ること曲の聴き方が変わりました。



フランスシター

そして、高井さんが歌詞をつけて歌われた曲、シチリアーノ、聴いた途端大好きになりました。ハミングしながら奏でられたメロディーの美しさ。目を閉じて聞いていると異国の風景が浮かぶのに、なぜか懐かしくて切なくて心ふるえました。最後の曲が終わってすぐ「アンコール、アンコール」の声が沸き上がり、一曲アンコールに応えてくださることになりました。「シチリアーノがもう一度聴きたい」と思いましたが勇気がなくて言えませんでした。

終演後は高井さんを囲んでフランスシターの説明を聞く人の輪や、古曳さんを囲んで古曳邸の貴重な資料を拝見する人の輪ができていて、話がはずんで時を忘れて長居してしまいました。まさにサロンコンサートというものを体験させていただいた幸せなひとときでした。

ご報告 六甲山荘作業 2月17日(土)

厳しい寒さの続くなかでの作業日で、雪がたくさん残っていました。勝手口のドアは凍りつき、軒からは太いツララ、庭には霜柱、不凍液をいれていたトイレの水も凍っていて、流しの排水も最初は流れない・・・と今年の冷え込みぶりが実感されました。そのなかでトイレ窓の棧を修繕し、流し底面のはがれていたタイルを貼りなおす作業を行いました。



六甲山荘スタッフ研修と準備作業

六甲山荘の公開にそなえて建物や庭の大掃除、スタッフの研修などをします。久しぶりに山荘に逢えるのが楽しみです。研修とスタッフ募集の案内はこのアメニティ便りに同封しています。ごらん下さい

作業 3月24日(土) 三井住友信託銀行の若いボランティアも一緒です。

公開準備とスタッフ研修 3月31日(土)

スタッフ研修は飯畑正一郎さんが研修指導してくださいます。

初めてスタッフに挑戦しようという方、ぜひご参加ください。

スタッフ経験者の方も復習のいい機会です。

学生見学日 3月31日(土) 4月1日(日)



募金のご報告～12月1月

12月、1月に次の方々から募金をいただきました。

ありがとうございました。(敬称略)

<六甲山荘屋根葺替え資金>

《12月1月合計 160,200円 2017年度累計 1,156,528円》

<一般資金>

《10月11月合計 102,763円 2017年度累計 541,383円》

*文化遺産継承基金

《12月1月合計 262,963円 2017年度累計 1697,911円》

アメニティ・レポートの原稿募集

5月の総会にあわせて「アメニティ・レポート2017」を発行します。そのなかの皆さんの投稿欄「会員の声」への原稿を募集します。ふだん思っていること、最近読んだ本、見た映画、腹のたつこと、笑ったこと・・・なんでも結構です。友だちにおしゃべりするような気軽な気持ちで文章にしてお寄せください。

字数 400字前後

締め切り 3月末日

FAXでもメールでも郵送でも、事務局までお送りください。

皆さんの原稿お待ちしております。

博士号取得

学生会員の山本真紗子さん(東京工業大学大学院)が博士号を取得されました。おめでとうございます! 論文の題は「The National Trustにおける人の参加と資産価値について」英国に何度も足を運び、INTO(ナショナル・トラスト組織の世界大会)でアメニティ2000協会を代表して発表もし、リサーチを重ねてこられました。当協会の冊子「英国ナショナル・トラスト」にも寄稿しておられます。日本ではまだ研究者が少ない分野で、若い研究者の台頭はうれしいことです。これからの活躍が楽しみです。



六甲山荘への道も雪景